

ふわふわ、もこもこ、愛らしい。



©TJTex?

その種類は 3,000 種以上

ヒツジというと、ムクムクした白い毛に覆われた愛らしい姿を連想する人が多いと思いますが、その種類はじつに豊富で、3,000 種以上が存在します。イラストなどに描かれるヒツジにはたいていクルクルと丸まった角がありますが、角を持たない種もあれば、ジャコブヒツジのように 4 本もの角を有する種もあります。

種類は豊富ですが、性格は全般的に警戒心が強く臆病なほうです。そのため群れたがる性質があり、群れから引き離されると強いストレスを受けてしまいます。人との歴史は古く、古代メソポタミア時代の遺跡から野生のヒツジとは異なるヒツジの骨が大量に発見されており、当時から家畜化されていたと考えられています。

その割に、日本では牛や豚などに比べ馴染みがないのは、高温多湿な日本の気候に合わないためで、家畜として飼育されている地域も北海道、東北、信越、北関東と限られています。

ところで、ヒツジは意外と記憶力がよいということをご存知でしたか。イリノイ大学の研究によると、人や他のヒツジの顔を何年も記憶でき、顔の表情から心理状態を識別することもできるそうです。

強健な体質と気候風土に適応するコリデール

さて、たくさんの種類が存在するヒツジの中で、馴染みが深いのは「コリデール」という種類でしょう。全身が白く、毛がモコモコしていて、角がありません。メリノ種とリンコルン種の交配によって産み出された

種で、その毛から作られる毛糸は最高品質といわれます。日本には 1914 年に輸入されました。ヒツジの中でも強健な身体を持ち、多様な気候風土に適応できるため、飼育しやすいのが特徴です。家畜として飼育されているヒツジは、毛が生え変わることがないので、1 年に 1 度、毛を刈る必要があります。コリデールの場合、1 頭から 5 ～ 6 kg の毛が採れます。

コリデールを飼育している動物園は日本にもたくさんありますが、2016 年、話題となったのは、埼玉県東松山市の県こども動物自然公園で、双子の赤ちゃんが生まれたというニュースです。ヒツジが 1 回に産むのは通常 1 頭なので、双子は珍しいのです。同園では毎年出産があるそうですが、双子は 15 年ぶりのことです。赤ちゃんは 30 分くらいで自力で立ち上がり、自分でお乳を飲むといえますから、たくましいですね。

春の足音が聞こえてくる頃、もこもこヒツジさんに癒やされに動物園に行ってみてはいかがでしょうか。

ヒツジ 偶蹄目ウシ科ヒツジ属 *Ovis aries*

コリデールは日本のほか、ニュージーランド、オーストラリア、チリ、アルゼンチンなど広く飼われている。食欲旺盛で成長が早く、適応性が高いので、世界中で飼育が広まった。